

昭和音楽大学大学院

修士課程
博士後期課程



Showa Graduate School of Music

*Master's Degree Programs
Doctoral Degree Programs*

2026年度 Event Calendar

大学院説明会

8/2(日) 12/26(土)
14:30~

- 各専攻説明
- 入試制度、特待生制度、奨学金等説明
- 個別受験相談 他

※12/26の開始時間は、決まり次第ウェブサイト等でお知らせします。



説明会・講習会のお申し込みはこちらから

受験講習会

実技個人レッスンをご希望の方は受験講習会にお申し込みください。

8/29(土) 9/26(土) 10/24(土) 11/15(日) 2027 1/24(日) 3/21(日)

©日程や内容は変更となることがありますので、詳細や最新情報はウェブサイトをご覧ください。

オンライン
個別相談
実施中!

平日 11:00~18:00

無料アプリ「Zoom(ズーム)」で、
本学教員・進学アドバイザーが
質問にお答えします。相談時間は
1回30分程度です。

音楽界を牽引する優秀な人材の育成をめざし より高度で総合的な研究を行います

音楽とその関連分野における高度な専門教育を行います。専門領域での研究・実践を通じて各々の分野に貢献し、文化・社会の発展に寄与する人材の育成をめざします。優れた技術と表現力・コミュニケーション能力の修得をめざす「**音楽芸術表現専攻**」、および音楽を通じて社会に貢献することをめざす「**音楽芸術運営専攻**」の2専攻を設置し、現代の社会や音楽界のニーズ、学生の多様なキャリアの可能性に応えるカリキュラムを編成しています。

修了後の学位

音楽芸術表現専攻

修士(音楽) Master of Music (M.Mus.)

音楽芸術運営専攻

修士(芸術) Master of Arts (M.A.)

取得できる教員免許状

- 高等学校教諭専修免許状〈音楽〉
- 中学校教諭専修免許状〈音楽〉

音楽芸術表現専攻 Musical Arts Major [入学定員 65名]

ピアノ

弦・管・打楽器

電子オルガン

ソリストとしての高度な専門技術の修得に加えて、音楽様式を踏まえた奏法や、アンサンブルの研究を行います。ピアノの場合は、指導法をはじめ、伴奏者（オペラ、バレエ、ミュージカル、歌曲）の育成も視野に入れています。

作曲

指揮

作曲では現代の多様なジャンルの音楽を視野に入れた作曲研究を、指揮ではオペラと管弦楽曲の両領域における指揮法の研究を行います。

オペラ

オペラを2年間総合的に研究し、修了公演の舞台へと結実させます。本学が長年蓄積してきたオペラの伝統と経験を活かしつつ、歌唱、演技、台本研究など、理論・実践の両側面から研究を行います。

声楽研究

イタリア、ドイツ、フランス、スペイン、日本の歌曲やオラトリオなどの研究を通して、声楽家として幅広い知識・演奏技術に裏付けられた表現法を修得します。

ジャズ&コンテンポラリーミュージック

ジャズやコンテンポラリーミュージックへの広範な知識と高度な演奏能力を獲得します。国際的な活動も視野に、ソリストやアーティスト、指導者として論理的な思考に基づいた表現を追求します。

ポップ&ロックミュージック

2027年度新設

ポップスやロックなど現代音楽の広範な知識と、高度な演奏能力を獲得します。実技レッスン、アンサンブル、作曲・アレンジ、セルフプロモーションなど総合的な表現活動を通して、ミュージシャンやアーティスト、指導者として論理的な思考に基づいた表現法を追求します。

サウンドプロデュース

2027年度新設

サウンドプロデューサーとしての高度な技術力・表現力・発信力を深化させ、ポピュラー音楽分野における新たな研究成果の創出をめざします。業界や企業との連携によるPBLを通じて実践的課題を研究へ展開し、さらに情報マネジメントやアントレプレナーシップを取り入れ、成果物を社会へ発信していくプロデュース力を構築します。



テアトロ・ジーリオ・ショウワでの公演より



大学オペラ公演2025『ラ・ボエーム』より



修士J&Cアンサンブル

ポイント

- 80分の個人レッスン※
- キャリアにつながるカリキュラム
- バラエティに富んだ共通科目
- 修士論文または修士研究

※サウンドプロデュースはゼミ形式のレッスンとなります。

音楽芸術運営専攻 Music and Arts Management Major [入学定員 15名]

音楽療法

医療・福祉・教育等の分野における実践者および研究者の育成を目的としています。学内に充実した音楽療法実習施設を持つ本学ならではの特徴を活かし、実践に則した臨床技術と研究能力を身につけます。

※資格取得のための履修科目についてはご相談ください。

日本音楽療法学会認定音楽療法士の
受験資格が取得できます

大学で音楽療法を専攻していなくても、
規定の科目を履修することにより、受験資格が得られます。



音楽療法上級実習

アートマネジメント

芸術文化活動を担うプロフェッショナルの育成を目的としています。専門的かつ実践的な研究を行うため、必要に応じて学内外で様々な実習を行います。舞台芸術をめぐる文化政策の研究のほか、自ら舞台を作ることにより、舞台芸術制作も実地に学ぶことができます。

音楽と文化

音楽・芸術文化についての高度な研究を行い、幅広く学際的な物の見方を身につけます。各自が自身の研究テーマや問題意識に沿って学ぶことで、将来、研究者や実務家等として活躍し、社会に貢献することをめざします。



音楽マネジメント特殊講義(神奈川県民ホール)

ポイント

研究内容に沿った個人指導

- 舞台の企画と制作の実践
- 音楽療法の実践と研究
- 舞台芸術政策の研究
- 音楽・芸術文化についての学際的研究

バラエティに富んだ共通科目

- 修士論文または修士研究と発表公演(アートマネジメント)
- 修士論文(音楽療法・音楽と文化)

2026年度カリキュラム

音楽芸術表現専攻【専門科目】

- | | | | |
|---|---------------------|--------------------|-------------------|
| ● 修士表現実技①～④
(ピアノ／電子オルガン／弦管打
声楽／作曲／指揮／J&C) | ● 修士声楽アンサンブルⅠ～Ⅳ | ● 修士録音制作特別演習①・② | ● 修士J&CアンサンブルⅡ①～④ |
| ● 修士オペラ特別演習①～④ | ● 修士ピアノ合奏特別演習①～④ | ● 修士ピアノ実技演習①～④ | ● 修士J&Cスタディ①～④ |
| ● オペラ台本特別研究Ⅰ・Ⅱ | ● ピアノ伴奏研究Ⅰ～Ⅳ | ● 修士室内楽特別演習①～④ | ● J&C作編曲法研究 |
| ● 舞台発声研究Ⅰ・Ⅱ(伊・仏・独) | ● 指導法特別演習Ⅰ・Ⅱ | ● 修士オーケストラ・スタディ①～④ | ● 修士論文Ⅰ①・② |
| ● 舞台表現テクニック研究Ⅰ・Ⅱ | ● 修士電子オルガン合奏特別演習①～④ | ● 修士管弦楽特別演習①～④ | ● 修士論文Ⅱ |
| ● 修士歌曲特別演習①～④ | ● 電子オルガン特別講義 | ● 修士吹奏楽特別演習①～④ | ● 修士研究 |
| | ● 修士楽曲分析特殊講義Ⅰ・Ⅱ | ● 修士ギター合奏特別演習①～④ | |
| | ● 電子音響制作特別演習Ⅰ・Ⅱ | ● 修士J&CアンサンブルⅠ①～④ | |

音楽芸術運営専攻【専門科目】

- | | | | |
|--|----------------------------|-----------------|----------------------------------|
| ● 修士特別研究①～④
(アートマネジメント／音楽療法)
音楽と文化 | ● 日本の文化政策研究 | ● 障がい児教育特殊講義 | ● 作品研究特殊講義Ⅰ～Ⅳ |
| ● 音楽芸術運営基礎演習 | ● 世界の文化政策研究 | ● 音楽療法指導研究Ⅰ・Ⅱ | ● 原典講読研究Ⅰ・Ⅱ |
| ● 音楽芸術制作研究Ⅰ・Ⅱ | ● 音楽療法上級実習Ⅰ～Ⅲ | ● 音楽療法文献講読研究Ⅰ・Ⅱ | ● 音楽実技①～④
(ピアノ／電子オルガン／弦管打／声楽) |
| ● 音楽芸術環境研究Ⅰ・Ⅱ | ● 音楽療法技能特別演習Ⅰ(障がい児)・Ⅱ(医療) | ● 記述統計特殊講義 | ● 音楽と文化実技Ⅰ①・②／Ⅱ①・②※ |
| ● コンサート・オペレーション研究 | ● 音楽療法技能特別演習Ⅲ(高齢者)・Ⅳ(表現技能) | ● 推測統計特殊講義 | |
| | ● 保健医療特殊講義 | ● 音楽文化研究Ⅰ～Ⅳ | |
| | ● 高齢者福祉特殊講義 | ● 西洋音楽史研究Ⅰ～Ⅳ | |

※電子オルガン、弦管打、作曲、指揮、ジャズ、ポップ&ロックについては履修相談の上、許可された者が履修可。

両専攻【共通科目】

- | | | | |
|---------------|-----------------------------|-------------------------|--------------------|
| ● 学外実習研究①・② | ● 音楽指導論特殊講義 | ● 日本語文法とコミュニケーション研究Ⅰ～Ⅲ※ | ● アカデミック・ジャパニーズ研究※ |
| ● 修士海外特別研修①・② | ● 音楽家とキャリアマネジメント | ● 日本語と日本社会研究Ⅰ～Ⅲ※ | ● 音楽研究法基礎 |
| ● 西洋音楽史特殊講義 | ● 音楽マネジメント特殊講義Ⅰ～Ⅳ | ● 実用日本語研究Ⅰ・Ⅱ※ | ● 音楽文化研究Ⅰ～Ⅳ |
| ● 西洋音楽史研究Ⅰ～Ⅳ | ● 実践英語研究①・② | ● 日本語日本文化研究Ⅰ～Ⅲ※ | ● 原典講読研究Ⅰ・Ⅱ |
| ● 作品研究特殊講義Ⅰ～Ⅳ | ● 実践伊語研究①・② | ● 日本語文法とコミュニケーション研究Ⅲ※ | |
| ● ピリオド演奏研究Ⅰ・Ⅱ | ● 原典講読研究Ⅰ・Ⅱ | ● 実践日本語研究※ | |
| ● J&C作編曲法研究 | ● イングリッシュ・イン・ミュージック・シーンズⅠ・Ⅱ | ● キャリアと日本語研究※ | |

※日本語科目については、指定された者のみが履修可。

きわめて高度な実技研究をめざす音楽芸術表現演奏領域を新たに開設

高度な知識と卓越した技能で、 芸術文化の未来を創り、支え、拓くことのできる 人材を育成

音楽芸術とそれに関わる多様な分野の研究を自立して行い、高等教育や高度な学術研究を担う人材を育成。きわめて高度な知識と教養、卓越した技能と深い洞察力により、芸術文化の未来を展望します。音楽大学の修士課程出身者のみならず、他大学修士課程（一般大学を含む）で関連分野を学んだ方や、修士号を持って音楽関連分野の現場で活動している社会人、国内外で演奏家として活躍しながらさらに高度な実技研究をめざす方など、多様な人材を歓迎します。

音楽芸術専攻 Musical Arts Major [入学定員 4名]

音楽芸術表現演奏領域

Field of Vocal and Instrumental Performance, Conducting and Composition

2027年度新設

声楽・器楽演奏および作曲・指揮の分野で、きわめて高度な実技研究を行います。演奏発表（リサイタル）または作品提出、国内外のコンクールや演奏会への出演など、毎年度の実績を着実に積み重ね、高度専門職を担うことができる人材として国際的に活躍できる実力を培います。最終的には、研究成果として、研究演奏発表または研究作品提出に加え、実技研究の総括として博士論文を執筆します。

音楽芸術表現領域 Field of Musical Arts

声楽・器楽演奏および作曲・指揮の分野で、「実技研究」と「学術研究」を両輪とする高度な研究を行います。討論や研究発表などを通じて、自ら問題提起する力、説得力のある言葉で表現する力を養い、最終的には、研究成果として、研究演奏発表（リサイタル）または研究作品提出に加え、博士論文を執筆します。

音楽文化研究領域 Field of Cultural Studies of Music

音楽文化論の分野で、高度な学術研究を行います。音楽学を中心に音楽と音楽文化を対象とする研究の手法や方法論を学び、多様な音楽文化とその担い手としての人間や社会・歴史・芸術思想とのかかわりなど、変容する音楽文化の諸相を領域横断的に研究します。その総括的な研究成果として博士論文を執筆します。

音楽芸術運営領域 Field of Arts Management and Music Therapy

舞台芸術政策研究、舞台芸術マネジメント、音楽療法の分野で、高度な学術的研究を行います。広い視野に立った学際的な研究を行うための様々な方法論を学び、変化する社会のニーズを的確に捉え、新しい領域を開拓していく力を養い、総括的な研究成果として、博士論文を執筆します。

2026年度カリキュラム

音楽芸術表現専攻【専門科目】

- 博士表現領域論文演習①～⑥
- 博士表現領域研究①～⑥

音楽文化研究領域【専門科目】

- 博士音楽文化研究領域論文演習①～⑥
- 博士音楽文化研究領域研究①～⑥

音楽芸術運営領域【専門科目】

- 博士運営領域論文演習①～⑥
- 博士運営領域研究①～⑥
- 博士研究方法論特講

全領域【共通科目】

- 博士研究指導①～⑥
- 博士音楽美学特講Ⅰ・Ⅱ
- 博士楽曲研究特講Ⅰ・Ⅱ
- 博士舞台芸術マネジメント特講Ⅰ・Ⅱ
- 博士西洋音楽史特講Ⅰ・Ⅱ
- 博士外国語原典研究特講Ⅰ・Ⅱ
- 博士舞台芸術政策特講Ⅰ・Ⅱ
- 博士音楽療法特講Ⅰ・Ⅱ

修了後の学位

音楽芸術表現演奏領域

博士（音楽） Doctor of Music (D.M.)

音楽芸術表現領域

博士（音楽） Doctor of Musical Arts (D.M.A.)

音楽文化研究領域

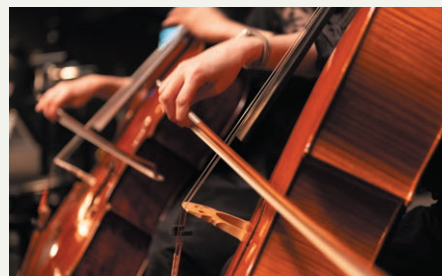
博士（芸術） Doctor of Philosophy (Ph.D.)
in Cultural Studies of Music

音楽芸術運営領域

博士（芸術） Doctor of Philosophy (Ph.D.)
in Arts Management

音楽芸術運営領域

博士（音楽療法） Doctor of Philosophy (Ph.D.)
in Music Therapy



大学オペラ公演、オーケストラピットより



作曲家の自筆譜のファクシミリ（図書館所蔵）

ポイント

全領域共通

- 各自の専門を極める研究指導
- 高度な専門性と学術的素養を深める共通科目
- 成果を着実に積み上げる年次研究発表
- 研究演奏発表（リサイタル）の開催（声楽・器楽・指揮の最終年次）
- 研究作品提出（作曲の最終年次）

音楽芸術文化研究領域・ 音楽芸術運営領域

- 研究の集大成としての博士論文

教員紹介

学長 角南 篤 副学長 江口 文子 音楽研究科長 酒巻 和子

修士課程

作曲 梅北 直昭 後藤 英 後藤 洋 豊住 竜志 久行 敏彦 由雄 正恒 渡辺 愛	近藤 麻里 財満 和音 佐藤 勝重 清水 真美 下田 幸二 末永 匡 杉本 安子 鈴木 弘尚 鈴木 二美枝 曾根 恭子 高井 清志 高田 有莉子 蓼沼 恵美子 田原 さえ 土屋 恭子 東郷 まどか 奈良井 巳城 根津 理恵子 萩島 薫 長谷川 淳 花房 真美 林 眞砂子 林田 枝実 半澤 尚美 東 優子 樋口 あゆ子 樋口 紀美子 深川 美奈 福島 由佳 干野 宜大 前 孝 増沢 英子 増山 未紀 松岡 淳 松村 佳子 松本 美都子 松山 優香 三浦 捷子 三谷 温 三井 美奈子 ミハウ・ソプコヴィアク 向山 博子 本尾 かおる 本村 久子 森 直紀 矢澤 一彦 山崎 紫乃 與口 理恵 早稲田 真理 渡辺 麻里	電子オルガン 伊藤 佳苗 梅本 深雪 海津 幸子 見野 康幸 柴田 薫 高橋 朋彦 森下 絹代 諸井 野ぞ美 山口 綾規	フルート 飯島 諒 太田 嘉子 甲藤 さち 金野 紗綾香 工藤 重典 黒田 隆 清水 信貴 庄田 奏美 藤田 真頼 堀井 恵 丸田 悠太 吉岡 アカリ	ホルン 今井 仁志 大森 啓史 中島 大之 樋口 哲生 日高 剛	声楽、オペラ 粟國 淳 安部 克彦 飯坂 純 五十嵐 麻利江 石岡 幸恵 石川 誠二 市川 有一郎 井ノ上 了吏 岩田 達示 上杉 清仁 上田 武夫 大石 洋史 大勝 秀也 大森 智子 小田桐 貴樹 小野寺 光 唐谷 裕子 川越 塔子 後藤 春馬 幸田 浩子 柴山 昌宣 島田 美香 鈴木 とも恵 園田 隆一郎 高橋 大 高橋 未来子 田中 大揮 田野崎 加代 津山 恵 中井 奈穂 中井 亮一 中畑 有美子 中村 佳子 長島 由佳 秦 貴美子 服部 陽介 馬場 紀碧 平野 桂子 廣田 美穂 藤原 海考 牧野 真由美 松浦 健 的場 辰朗 三浦 克次 光岡 暁恵 宮野 麻紀 望月 光貴 八尋 久仁代 山館 冬樹 吉村 恵	ジャズ&コンテンポラリー ミュージック 関根 彰良(Gt) 古川 昌義(Gt) 川崎 哲平(Ba) 櫻井 哲夫(Ba) 白船 睦洋(Ba) 小山 太郎(Dr) 則竹 裕之(Dr) 横山 和明(Dr) 守屋 純子(Pf) 岡崎 正典(Sx) 近藤 和彦(Sx) 斎藤 尚久(Sx) 本田 雅人(Sx) 池田 雅明(Tb) 斉田 佳子(Vo) DAISUKE(Vo) 名知 玲美(Vo)	三浦 優佳 村林 信行 横山 順一
指揮 大勝 秀也 時任 康文 星出 豊 松下 京介		ヴァイオリン 伊藤 亮太郎 川口 堯史 木村 恭子 小林 美恵 小森谷 巧 澤 和樹 ジェラル・プーレ 寺岡 有希子 伝田 正秀 淵野 日奈子 松田 拓之	オーボエ 浦 丈彦 辻 功 宮村 和宏	トロンボーン 池上 亘 小田桐 寛之 門脇 賀智志 郡 恭一郎 古賀 光		アートマネジメント 石田 麻子 石野 利和 岸田 生郎 倉持 欣幸 小松 弥生 酒井 健太郎 椎葉 克宏 中尾 友彰 仁科 岡彦 垂澤 弘志 八木 清市 吉原 潤	音楽と文化・音楽学 有田 栄 池上 英洋 石川 亮子 上杉 奈央子 王 明君 大角 欣矢 小畑 恒夫 鴨川 太郎 高 翔麟 児玉 瑞穂 小林 篤茂 小林 幸子 近藤 譲 酒巻 和子 清水 英夫 関野 さとみ 田崎 直美 高山 博 中村 仁 丹羽 幸江 三城 桜子 宮崎 晴代 室田 尚子 森田 学 米田 かおり
ピアノ 秋山 徹也 安嶋 健太郎 飯田 佐恵 飯原 千恵子 石井 なをみ 石橋 衣里 泉 ゆりの 泉谷 絵里 今城 衣美子 入江 一雄 上野 優子 江口 文子 遠藤 眞澄 大友 聖子 多 紗於里 大森 ひろみ 奥平 純子 奥村 晃博 尾崎 進亮 尾崎 有飛 鍵岡 真知子 加藤 大樹 兼平 真木 神代 稔子 川染 雅嗣 菊地 麗子 木米 真理恵 久能 貴子 江夏 範明 河野 有香 國保 真理 後藤 育慧 後藤 正孝 後藤 康孝 小林 有沙		ヴィオラ 松実 健太 柳瀬 省太	チェロ 金木 博幸 菅野 博文 島根 朋史 古川 展生	ファゴット 井上 俊次 太田 茂 菅原 恵子 福井 弘康	打楽器 一丸 聡子 植松 透 菅原 淳 杉山 智恵子 西久保 友広 星出 朱音 三村 奈々恵	音楽療法 伊志嶺 理沙 伊藤 啓子 上羽 由香 大山 祥子 北島 洋美 杵鞭 広美 木下 容子 近藤 真由 白川 ゆう子 鈴木 裕也 鈴木 涼子 高畑 敦子 田原 ゆみ 羽石 英里 二俣 泉 松井 紀和	外国語 英語 スーザン・アダムズ・ヤマダ ティモシー・マーチャンド フランス語 ダルゼス・フレデリック イタリア語 井内 百合子 清水 英夫 ミッシェ・フランチェスカ 日本語 小笠 恵美子 久保田 美映 立川 睦美 松尾 恵理沙

博士後期課程

作曲 後藤 洋 近藤 譲 豊住 竜志 久行 敏彦 由雄 正恒	指揮 時任 康文	オーボエ 浦 丈彦	ホルン 中島 大之 樋口 哲生	打楽器 西久保 友広 三村 奈々恵	舞台芸術マネジメント 舞台芸術政策研究 石田 麻子 酒井 健太郎 垂澤 弘志	音楽文化論・音楽学 有田 栄 石川 亮子 上杉 奈央子 大角 欣矢 小畑 恒夫 近藤 譲 酒巻 和子 田崎 直美 森田 学
ピアノ 江口 文子 川染 雅嗣 杉本 安子 鈴木 弘尚 林田 枝実 三谷 温	ヴァイオリン 伊藤 亮太郎 小森谷 巧 ジェラル・プーレ	クラリネット 加藤 明久 関口 仁	トランペット 井川 明彦 服部 孝也	声楽 井ノ上 了吏 柴山 昌宣 鈴木 とも恵	音楽療法 伊藤 啓子 近藤 真由 鈴木 涼子 羽石 英里 二俣 泉 松井 紀和 村林 信行	
	チェロ 古川 展生	サクソフォーン 彦坂 眞一郎 福本 信太郎	トロンボーン 小田桐 寛之			
	フルート 甲藤 さち 工藤 重典					

大学院 2027年度入試日程

	Web出願期間	試験日
修士課程	第1回 2026 11月1日(日)～11月6日(金)	11月18日(水)・19日(木)
	第2回 2027 1月7日(木)～1月13日(水)	2月3日(水)・4日(木)
博士後期課程	2027 2月5日(金)～2月9日(火)	2月18日(木)・19日(金)

◎外国人留学生の日本語能力要件について

修士課程

日本語能力試験(JLPT)の「N2」以上の資格を取得していることが条件です。
「N2」以上の資格を取得していない者は、本学が独自に実施する日本語能力試験を受験してください。

博士後期課程

(音楽芸術表現領域、音楽文化研究領域、音楽芸術運営領域)
日本語能力試験(JLPT)の「N1」の資格を取得していることが出願の条件となります。

◎博士後期課程への出願には事前面談が必須となります。「博士研究指導」に関わる教員のうち、自身の専門分野と同一またはそれに関わる分野の担当教員による事前面談を受け、博士後期課程修了までの在学期間中の研究計画と研究内容、履修計画と履修内容を確認し、必要に応じて助言・指導を受けてください。



大学院入試について
学生募集要項／出願書類様式
ダウンロード



Web出願について／Web出願サイト

サイト公開後より登録可能。
郵送書類あり、出願期間の翌日まで必着。

Web出願の手順



Event Calendar 2026

大学院説明会

8/2(日) 12/26(土)

14:30～

※12/26の開始時間は、決まり次第ウェブサイト等でお知らせします。

- 各専攻説明
- 入試制度、特待生制度、奨学金等説明
- 個別受験相談 他

説明会・講習会のお申し込みはこちらから



受験講習会

実技個人レッスンをご希望の方は受験講習会にお申し込みください。

8/29(土) 9/26(土) 10/24(土) 11/15(日) 2027 1/24(日) 3/21(日)

◎日程や内容は変更となることがありますので、詳細や最新情報はウェブサイトをご覧ください。

昭和音楽大学大学院

〒215-8558 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1

お問い合わせ
資料請求
広報室

0120-86-6606

nyushi@tosei-showa-music.ac.jp



2027年度新設 【修士課程】音楽芸術表現専攻

◀ポップ＆ロックミュージック／サウンドプロデュース▶

特設サイト Open!



助成：

Japan
Creator
Support
Fund
FOR CREATOR
DEVELOPMENT